

2026年度当初予算 都道府県観光予算アンケート

④九州・沖縄

佐賀県

【当初 観光予算】
945,184千円(前年度比98.1%)

2026年度当初観光予算額に2025年度補正予算(繰越)もって佐賀旅誘客事業は含めていない

【予算額上位】

- ①文化観光連盟補助(440,546千円)
- ②訪日外国人観光客宿泊推進事業(246,047千円)
- ③世界に誇る本物を活かした文化ツーリズム創出事業(110,944千円)
- ④観光振興事業(46,440千円)
- ⑤九州観光機構負担金(43,538千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 国内観光客誘客促進事業(69,097千円)
 - もって佐賀旅誘客事業(396,170千円)※2025年度補正予算(繰越)
- インバウンド誘客促進
 - 訪日外国人観光客宿泊推進事業(246,047千円)
 - 海外観光客誘客促進事業(225,036千円)
 - 世界に誇る本物を活かした文化ツーリズム創出事業(110,944千円)
 - 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - グランブルー・ツーリズム推進事業(9,922千円)
 - 佐賀型観光プロダクツ創出事業(6,501千円)
 - 受入環境整備事業(18,885千円)
 - 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 九州観光機構負担金(43,538千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
現時点で導入の予定はないが、他県や県内市町の状況を注視していきたい。

福岡県

【当初 観光予算】
2,887,435千円(前年度比119.4%)

【予算額上位】

- ①県内送客促進事業費(860,667千円)
- ②福岡県宿泊税交付金(369,188千円)
- ③サイクリングルート整備事業費(189,350千円)
- ④宿泊事業者生産性向上支援事業費(124,416千円)
- ⑤観光振興事業費(123,107千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 県内送客促進事業費(国内向け)(537,596千円)
 - 国内観光需要喚起事業(45,786千円)
 - 県内温泉地への来訪・宿泊促進費(42,952千円)
- インバウンド誘客促進
 - 県内送客促進事業費(インバウンド向け)(323,071千円)
 - 食の王国福岡PR事業費(61,546千円)
 - 欧米豪からのインバウンド誘客促進費(57,435千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 体験・交流・滞在型観光資源開発事業費(68,869千円)
 - 新たな観光地域づくり推進費(61,134千円)
 - ユニバーサルツーリズム実践推進費(48,624千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 宿泊事業者生産性向上支援事業費(124,416千円)
 - 宿泊施設受入対応強化支援事業(25,838千円)
 - 観光人材育成・雇用促進費(24,659千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
2020年4月から実施。現時点で、税額税率の見直しの検討は行っていない。

大分県

【当初 観光予算】
972,772千円(前年度比95.8%)

【予算額上位】

- ①インバウンド推進事業(268,443千円)
- ②国内誘客総合推進事業(145,083千円)
- ③ツーリズム推進基盤強化事業(63,750千円)
- ④地域の魅力を活かした多様なツーリズム推進事業(55,005千円)
- ⑤観光データマーケティング推進事業(51,987千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 国内誘客総合推進事業(145,083千円)
 - 広域ツーリズム推進事業(42,849千円)
 - 地域の魅力を活かした多様なツーリズム推進事業(55,005千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド推進事業(268,443千円)
 - 広域ツーリズム推進事業(42,849千円)
 - 地域の魅力を活かした多様なツーリズム推進事業(55,005千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光地域づくり共創事業(39,322千円)
 - 宿泊業経営力強化加速化事業(30,534千円)
 - 観光データマーケティング推進事業(51,987千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - ツーリズム推進基盤強化事業(63,750千円)
 - 観光データマーケティング推進事業(51,987千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
知事が導入を表明。制度案を検討中。

熊本県

【当初 観光予算】
1,164,127千円(前年度比89.6%)

【予算額上位】

- ①観光誘客プロモーション推進事業(192,978千円)
- ②官民共創による県有スポーツ施設整備推進事業(113,363千円)
- ③国際パドミントン大会誘致促進事業(101,400千円)
- ④ツール・ド・九州受入環境整備事業(96,991千円)
- ⑤熊本地震震災ミュージアム推進事業(71,435千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 観光誘客プロモーション推進事業(192,978千円)
 - 国内観光誘致対策事業(29,574千円)
 - 教育旅行誘致推進事業(13,030千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド誘致推進事業(35,371千円)
 - 台湾インバウンド誘客強化事業(23,500千円)
 - クルーズ船誘致促進事業(15,571千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 『ONE PIECE』連携復興応援事業(63,521千円)
 - 観光標識整備事業(33,075千円)
 - 「マンガ県くまもと」構想推進事業(17,226千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 熊本県観光連盟補助(41,416千円)
 - DMO等連携推進事業(30,000千円)
 - 観光産業復興による雇用創出事業(12,650千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
他自治体の動向を注視。さまざまな角度から研究中。

長崎県

【当初 観光予算】
1,339,598千円(前年度比96.7%)

【予算額上位】

- ①しま旅潜在促進事業費(386,575千円)
- ②しま旅受入体制整備事業費(115,712千円)
- ③観光まちづくり推進事業費(93,697千円)
- ④長崎県FIT誘客インバウンド推進事業費(73,953千円)
- ⑤大型客船誘致促進プロジェクト推進事業費(58,338千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - しま旅潜在促進事業費(386,575千円)
 - ながさき観光情報基盤整備事業費(43,131千円)
 - 広域観光共同宣伝事業費(39,653千円)
- インバウンド誘客促進
 - 長崎県FIT誘客インバウンド推進事業費(73,953千円)
 - 大型客船誘致促進プロジェクト推進事業費(58,338千円)
 - インバウンド需要創出拡大事業費(25,927千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - しま旅受入体制整備事業費(115,712千円)
 - 観光まちづくり推進事業費(93,697千円)
 - ながさき観光情報基盤整備事業費(43,131千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 観光業の人材育成事業費(5,975千円)
 - 「長崎のおもてなし力」向上支援事業費(5,261千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
観光審議会の中に観光振興財源検討専門委員会を設置し、新たな観光振興財源について宿泊税を含めて検討中。

沖縄県

【当初 観光予算】
5,512,114千円(前年度比109%)

【予算額上位】

- ①宿泊税導入に向けた宿泊事業者支援等事業(1,034,917千円)
- ②沖縄観光グローバル事業(542,247千円)
- ③持続可能な国際観光景観事業(370,000千円)
- ④観光人材確保支援事業(322,798千円)
- ⑤スポーツツーリズム戦略推進事業(235,284千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - スポーツツーリズム戦略推進事業(235,284千円)
 - 国内需要安定化事業(199,875千円)
- インバウンド誘客促進
 - 沖縄観光グローバル事業(542,247千円)
 - 戦略的クルーズ観光推進事業(68,576千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光案内所運営事業(110,121千円)
 - 高付加価値なインバウンド観光地形成事業(140,849千円)
 - 沖縄観光コンテンツ開発支援事業(79,807千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 観光人材確保支援事業(322,798千円)
 - 観光人材育成・確保促進事業(53,356千円)
 - 沖縄観光コンベンションビューロー補助事業費(40,878千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
2027年2月1日導入予定。免税点なしの定率制。1人1泊当たりの宿泊料に定率2%(上限2000円)。次のいずれかに該当する宿泊には課税しない。学校の教育活動に伴う宿泊(修学旅行、部活動等)▽スポーツ大会、文化大会への参加に伴う宿泊(地域クラブ等)▽外国大使等の任務遂行に伴う宿泊。

鹿児島県

【当初 観光予算】
2,194,074千円(前年度比116.6%)

【予算額上位】

- ①魅力ある観光地づくり事業(1,000,000千円)
- ②インバウンド誘客促進特別事業(277,920千円)
- ③奄美パーク管理事業(168,587千円)
- ④宿泊業における人材確保育成支援事業(124,807千円)
- ⑤海外誘客ステップアップ事業(99,698千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 観光かごしま大キャンペーン推進事業(70,000千円)
 - 「南の宝箱 鹿児島」観光デジタルプロモーション事業(41,003千円)
 - 修学旅行等対策事業(9,039千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド誘客促進特別事業(277,920千円)
 - 海外誘客ステップアップ事業(99,698千円)
 - 国際クルーズ船誘致促進事業(48,993千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光コンテンツ高付加価値化推進事業(22,803千円)
 - 外国人観光客受入体制整備事業(15,045千円)
 - サイクルツーリズム推進事業(6,260千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 宿泊業における人材確保育成支援事業(124,807千円)
 - 「稼げる」観光地域づくり推進事業(16,721千円)
 - 観光振興対策事業(9,377千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
他の自治体の動向について情報収集を行い、必要性を含め検討中。

宮崎県

【当初 観光予算】
1,059,188千円(前年度比82.7%)

【予算額上位】

- ①外国人観光客誘致促進事業(162,560千円)
- ②宿泊施設立地促進等支援事業(100,000千円)
- ③インバウンド消費拡大・FIT誘客強化事業(85,250千円)
- ④宮崎の強みを生かした誘客事業(76,000千円)
- ⑤国スポ・障スポに向けたユニバーサルツーリズム受入環境整備事業(52,834千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 宮崎の強みを生かした誘客事業(76,000千円)
 - 「行きたくなる宮崎へ」ひなたの観光発信事業(42,812千円)
 - 推し活で日本のひなたプロモーション事業(37,305千円)
- インバウンド誘客促進
 - 外国人観光客誘致促進事業(162,560千円)
 - インバウンド消費拡大・FIT誘客強化事業(85,250千円)
 - インバウンド周遊促進二次交通対策事業(35,600千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 宿泊施設立地促進等支援事業(100,000千円)
 - 国スポ・障スポに向けたユニバーサルツーリズム受入環境整備事業(52,834千円)
 - 持続可能な観光地域づくり推進事業(29,313千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 宮崎の強みを生かした誘客事業(76,000千円)
 - 持続可能な観光地域づくり推進事業(29,313千円)
 - 宿泊業等人材確保対策事業(6,093千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況
他自治体の動向を注視。具体的検討は行っていない。

← 回答結果を紹介する自治体別の各表のうち、「当初観光予算」では、観光予算額と前年度比のほか、予算の大幅な増減などの要因として留意すべき事項について、記入・記載の希望があった自治体のみ記載した。
【予算額上位】の項目は、当初予算の観光予算額の中で金額の大きい上位5つの事業について回答してもらった結果。
【分野別主要事業】の項目の回答は、「国内旅行(日本人旅行)の誘客促進に関する主要事業」「インバウンド(訪日外国人旅行)の誘客促進に関する主要事業」「観光資源の発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備(観光地域づくり)マーケティングに関する主要事業」「観光産業の振興・支援、人材育成、DMOへの支援に関する主要事業」の4分野に分けて、主要事業を3つ以内

国内・訪日誘客に施策 宿泊税の検討状況は—

都道府県の回答結果

で聞いた結果。
【宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況】の欄は、アンケートの設問を「観光振興財源としての宿泊税(法定外目的税)」について、導入の是非や制度設計などの検討状況(を記入ください)と、導入の是非や制度設計がまだ、すでに実施が決まっている場合は、実施予定時期、税額税率の方式等を記入ください。実施済みの場合は、税額税率の変更等に関する検討状況の有無、実施予定(を記入ください)と、回答を求めた。
「北海道・東北」エリアと「北陸信越・中部」エリアの道県の回答結果については、6月22日付で紹介した。
次号7月6日付では、「関西」エリアと「中国・四国」エリアの府県の回答結果について掲載を予定している。